

岩手地区連携で共通課題解決へ

農業・林業振興対策の推進など

4市町議会一同に

岩手地区議会議長会（前田隆雄会長・栗石町議会議長）主催による第66回岩手地区議会議員大会が6月27日に滝沢市のビッグブルー滝沢で開催されました。地区内の議会議員、来賓に地区内の首長ら約80人が参加し、さらなる地域の発展を相互に確認し親交を深めました。



大会宣言を行う中崎議長

共通課題を決議

この大会は滝沢市、岩手町、栗石町、葛巻町の4市町議会が、共通する地域課題の早期解決に向けて互いに協力するため毎年開催しており、今年も滝沢市のビッグブルー滝沢が会場となりました。

大会では、中崎議長が「議会人は自らの良識を培い、課せられた責務を通じて、住民福祉の向上と国家の繁栄に寄与する。我々の責務がますます重大なることを忘れず、相互協調のもとに課題の実現を図り、豊かで明るい郷土の建設に一層努力する。」と宣言を行いました。

議案では、道路整備など喫緊の課題7項目を各市町の議会議員がそれぞれ提案。本町からは、柴田勇雄議員が「農業振興対策の推進」について活力と魅力のある農業・農村をよみがえらせるために、基盤整備事業など中山間地域の振興対策をはじめ効率的かつ重点的な農業振興対策の推進と、

100年先の山村経営を見据えた「林業振興対策の推進」について提案しました。

満場一致で承認された7項目は、県議会議員や県の関係機関、岩手県選出国會議員、国の関係機関に要望を行う予定です。要望の主な内容は左の表のとおりです。

岩手地区議会議長会の要望内容（要約）

- ① 広域的な観点からの道路の整備促進
- ② 地域振興の観点からの道路の整備促進
- ③ 県立高等学校の存続（30人学級実施など）
- ④ 効率的かつ重点的な農業振興対策の推進
- ⑤ 森林資源を保全する林業振興対策の推進
- ⑥ 農業農村整備にかかる財源確保
- ⑦ テレビ共同受信施設改修に対する財政支援



提案説明をする柴田議員

住民との対話を学ぶ

～京都龍谷大学・土山希美枝氏の講演～

岩手地区議会議員大会終了後、龍谷（りゅうこく）大学政策学部教授の土山希美枝氏による「対話と議論でつくる政策議会」と題した講演会が開催されました。

土山氏は、議員と議会の活動を住民が知らない現状を紹介。この現状を変えるために、議会と住民の対話が必要であると話しました。議会報告会を例に、対話の目的や意

義を企画に生かすことで、テーマにした課題で議会と住民がつながり、問いかけることで住民の発言を引き出し、見えるようにカードなどに書くことで考えが共有できるなど、議会と住民はもっと良い話し合いの場をつくれると強調。

町の課題を知らせ、多様な意見を集めて議会での議論に生かすことなど、今後の議会活動の取り組みに参考となる内容でした。



講演する土山氏